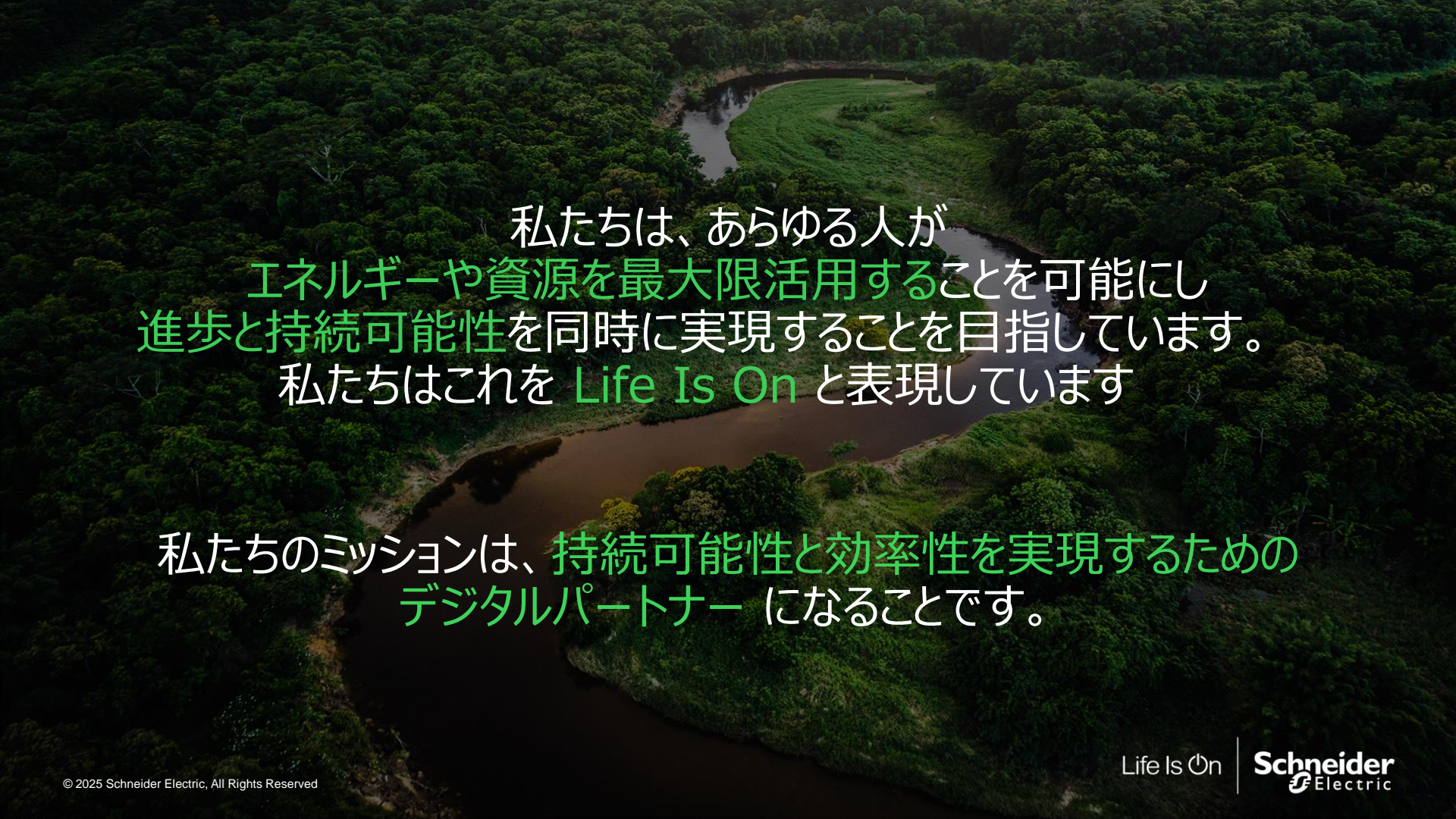


シュナイダーエレクトリックのご紹介

Introduction of Schneider Electric

シュナイダーエレクトリック
インダストリアルオートメーション事業部



私たちは、あらゆる人が
エネルギーや資源を最大限活用することを可能にし
進歩と持続可能性を同時に実現することを目指しています。
私たちはこれを Life Is On と表現しています

私たちのミッションは、持続可能性と効率性を実現するための
デジタルパートナー になることです。

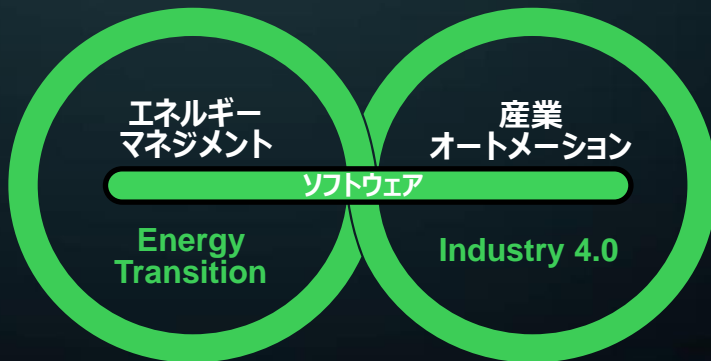
シュナイダーエレクトリックが展開する事業領域

€38.2bn

グループ全体での2024年収益

150k+

100以上の国・地域で
働く従業員数



核となる
2つのビジネス

2大ビジネスの売上構成比

79%

21%

エネルギー・マネジメント

インダストリアル
オートメーション

収益バランス

電化
サステナビリティ

+

デジタル化
効率化

業界・市場別

*2024年Q4のオーダーより

データセンター 24%

ビル 30%

工場・プラント 33%

インフラ 13%

地域別

西ヨーロッパ 24%

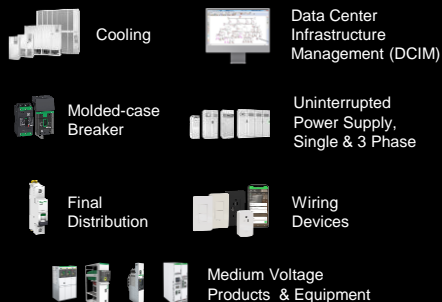
北米 36%

アジア太平洋 27%

その他の地域 13%

エネルギー & オートメーションのテクノロジーを ソフトウェア、サービス、サステナビリティ のソリューションと融合

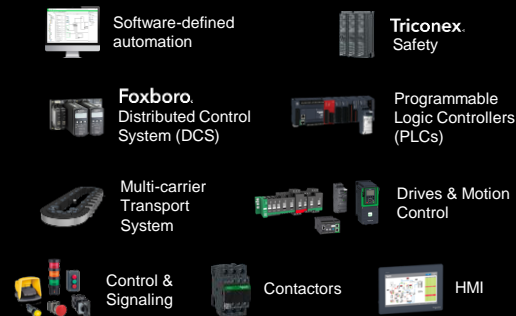
エネルギー・マネジメント



ソフトウェア、サービス、サステナビリティ



インダストリアルオートメーション



データセンター



ビルディング



インフラストラクチャー



消費財



重工業



水・環境



進化したグローバルサプライチェーンの構築で安定した生産と物流

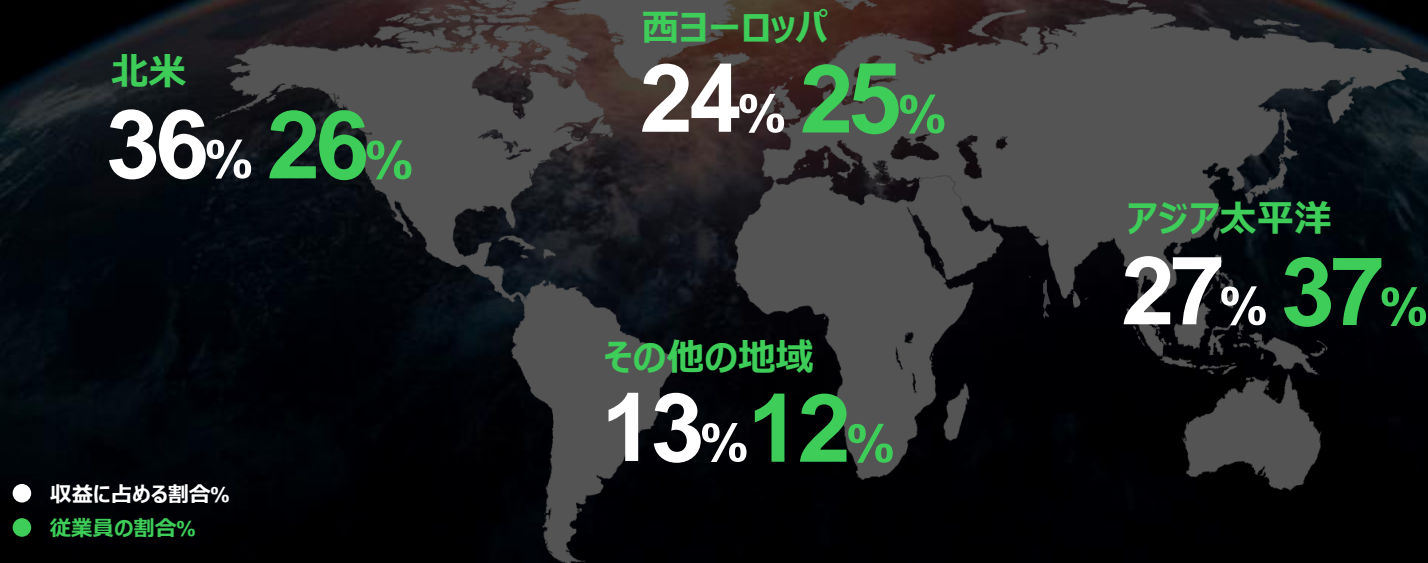
エンドツーエンドのバリューチェーンを実現するグローバルネットワークの実現



サプライチェーン全体で約8万人の従業員

中央集権型ではない権限委譲の形 マルチハブでのオペレーションモデル

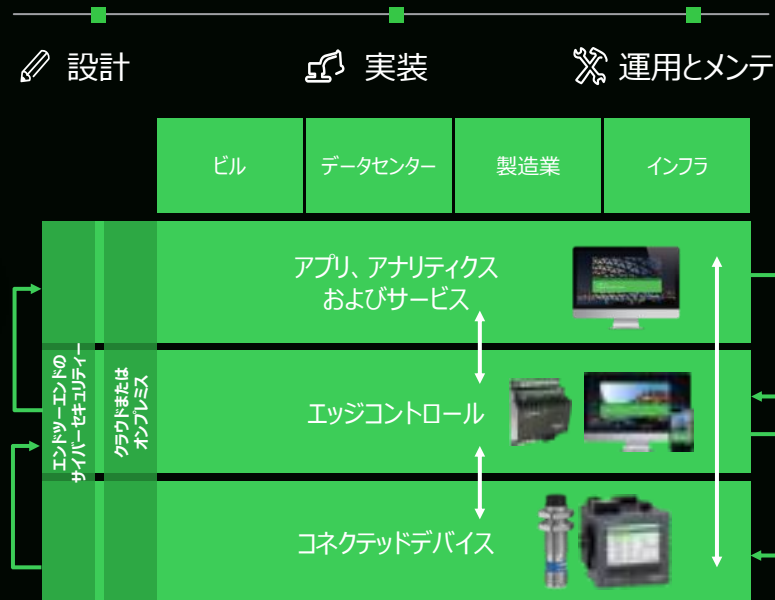
研究開発からサプライチェーン、製造、販売まで、お客様に最も近い場所で



出典：2024年自社データ

シュナイダーエレクトリックは産業用ソフトウェアのトッププレイヤーへ

世界で有数の産業用ソフトウェアメーカーの
統合により、シュナイダーエレクトリックは、
**将来に渡り、拡張性の高いプラットフォームを元に
製造業のデジタル化を推進**



デジタル化とサステナビリティにおける実績と対外的な評価

世界最高のデジタル化とサステナビリティのソリューションプロバイダであるために

運用実績

200か所

工場数

100か所

物流センター

400社以上

サプライヤーと業界エキ
スパートとのコラボ

100か所

スマート工場
スマート物流センター

30か所

ゼロカーボン
施設

ETO、MTO、MTS*
のさまざまな生産形態

* ETO = 特機生産、MTO = 受注生産、MTS = 在庫生産

Gartner

1位

2023, 2024年
サプライチェーントップ
25社

WORLD
ECONOMIC
FORUM

11選定

2024年
世界経済フォーラム
ライトハウス選定工場






Corporate Knights

TIME

1位

2021, 2024年
世界で最も持続可能
性の高い企業

日本での事業展開の歴史

	～1970	1970～1990	1990～2010	2010～
<p>コーポレート 全体</p> <p>Schneider Electric</p>	<p>1836  シュナイダー創業</p> <p>1962 日本での事業開始</p>	<p>1980 Square D 1984 Merlin Gerin 日本事業開始</p>	<p>1999 東芝との合併 東芝シュネデルインバータ設立</p> <p>2008 富士電機との合併 富士電機機器制御を設立</p>	<p>国内事業部門を拡大</p> <p>2016 インダストリアルオートメーション事業</p> <p>2017 サービス事業</p> <p>2018 パワープロダクト事業</p> <p>2021 デジタルエナジー事業</p> <p>2021 サステナビリティ事業</p>
<p>セキュアパワー 事業部</p> <p>APC</p>		<p>1981  APC 創業</p>	<p>1996 APCジャパン 日本での事業開始</p>	<p>2007 APCとシュナイダーが 資本提携</p> <p>2011 シュナイダーエレクトリックに 社名変更</p>
<p>インダストリアル オートメーション 事業部</p> <p>Pro-face</p>		<p>1972  デジタル (Pro-face) 創業</p> <p>1988 世界初のプログラマブル表示器発売</p>	<p>2002 デジタル (Pro-face) とシュナイダーが資本提携</p> <p>2008 アローと資本提携</p>	<p>2017 シュナイダーエレクトリック ホールディングスに社名変更</p>
<p>産業 ソフトウェア 関連</p> <p>invenSys</p> <p>AVEVA</p> <p>OSIsoft</p>	<p>1967  AVEVA 創業</p>	<p>1988  インベンシス 創業</p>		<p>2014 インベンシスとシュナイダー 資本提携</p> <p>2017 インベンシス社名変更 シュナイダーエレクトリックシステムズ (シュナイダーエレクトリックソフトウェア)</p> <p>2021 AVEVAがOSIsoftを買収</p> <p>2023 シュナイダーのAVEVA買収が完了</p>

日本におけるシュナイダーエレクトリック

Japan Cluster President

Line of Business	Commercial		Function
	エネルギーマネジメント	インダストリアルオートメーション	
HMI 企画開発本部	セキュアパワー事業部	インダストリアルオートメーション事業部	財務経理本部
	デジタルエナジー事業部	プロセスオートメーション事業部	マーケティング・事業開発本部
	パワープロダクト事業部		人事総務本部
Joint Venture	パワーシステム事業部	エナジー マネジメント セグメント 事業部	ロジスティクス本部
	ソーラー事業部		カスタマーサティスファクション&クオリティ本部
富士電気機器制御	サステナビリティ事業部		
東芝シュネデール インバータ	サービス事業部		

日本におけるシュナイダーエレクトリック

HMI企画開発本部

富士電機機器制御 本社

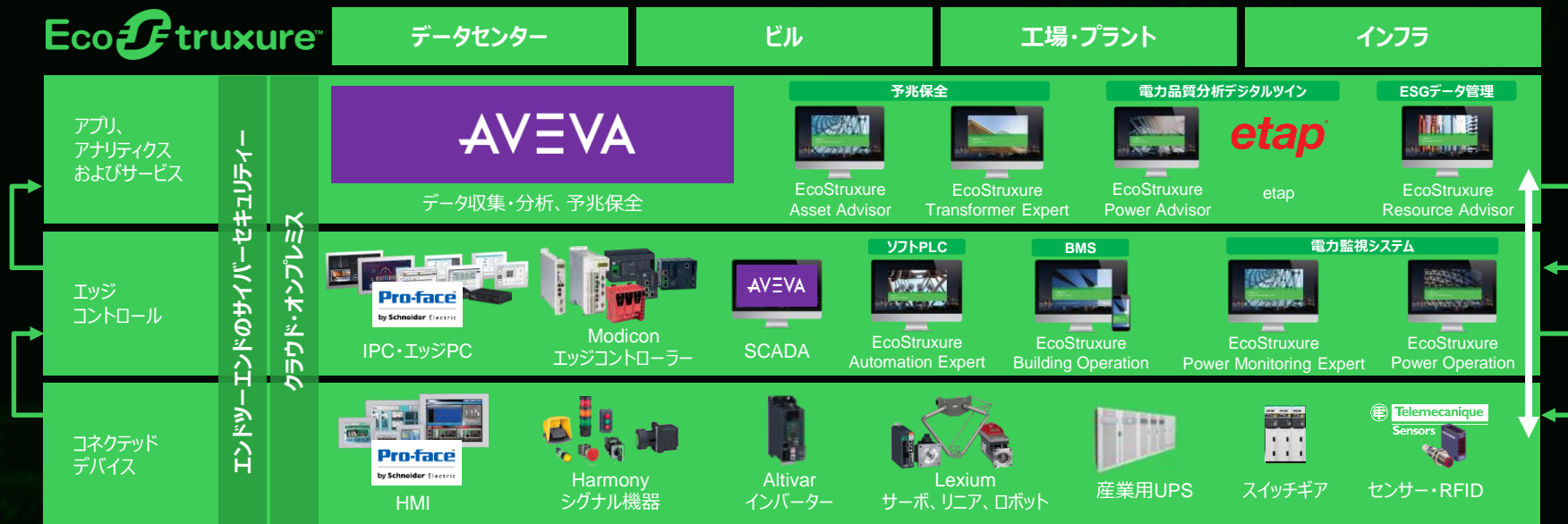
南船橋DC

シュナイダーエレクトリック 本社
アヴィバ 本社

東芝シュネデール・インバータ 本社

泉大津DC

シュナイダーエレクトリックの提供するIoT基盤の総合プラットフォーム



Flexible

安全性、信頼性、持続可能性、サイバーセキュリティなどの主要な課題に柔軟に対処

Scalable

小規模な施設から大規模な電気集約型施設まで

Open

サードパーティーのデバイスと他の運用システムとの統合

シュナイダーエレクトリックは、 電気・産業機器、および自動化・エネルギー管理用ソフトウェアの 開発・製造を行う、総合メーカーであり事業会社です

デジタル化推進時代における当社の強み



SE自社工場で運用実績のあるソフトウェア（当社自身がユーザー）による提案



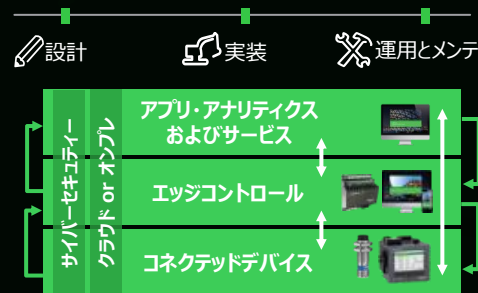
メーカー問わず、あらゆるデバイスからのデータ収集・分析が可能なソフトウェア



最小限の投資コストでエネルギー効率向上と運用コスト削減の実現を可能にする



自動化・エネルギー管理・脱炭素化まで一貫した統合プラットフォームの保有



現場のあらゆる要素をデジタルに接続することで、全レイヤーを通した相互運用を可能にします

Life Is On | **Schneider**
Electric

se.com

